

メーデーのまとめ



宮川モールでの集会



大島良満氏



組合旗を先頭にパレード



最後尾の瀬戸市教労の旗

5月1日、宮川モールで恒例の尾張東メーデーの集会(71名)が開催されました。

大島氏の話によると、瀬戸地域は田原市と共に名古屋に次いで県下でメーデーが2番目に開催された所。その伝統を引き継いで2021年度も整然と行われました。

オリンピックはスペツと止め、資源をコロナ対策や貧窮支援に！

東京五輪開催をめぐり、中止を求める声が強まっています。コロナ感染は都市部だけではなく、全国で猛威をふるっています。遅れたワクチン接種も一部地域で始まつただけで、現場では看護師や医師らの人手不足が指摘されていました。遅れたワクチン接種の要請まで言い出しました。

東京五輪に割くことは、コロナ禍で疲弊した医療関係者をさらに苦しめ、五輪にかかる人々の命も危険にさらす。「平和の祭典」という五輪の理念にも反する」と指摘しています。さらに、「コロナ禍で若者、女性、外国人の困窮者が増えた。遣谷公園で開かれた「年越し派遣」とは比べものにならないほど貧困が進んだと実感します。また、「人々の命と暮らしを守ることが政府・自治体の本義なら、一刻も早く開催中止を宣言し、窮屈にあえぐ人々に資源を割くべきではない」と語っています。

「オリンピック中止こそ最大のコロナ対策」国民の7割が中止を求めているという報道もあります。東京五輪にはすでに総額1兆6000億円が投じられました。自民党の二階幹事長が「これ以上とても無理だ」ということだったら、これはスペツとやめないといけない。」と語りました。

こどもを動員するな！

東京都内の園児や生徒の約8割にあたる約81万人に東京五輪・パラリンピック競技を観戦させるという計画が、コロナ禍でもそのまま強行されようとしています。独自の感染対策もなく、ワクチン未接種の子どもたちをリスクにさらす無謀な計画は直ちに中止すべきです。

今やるべきはオリンピックでしょ！

こうした声は全国で広まっています。「もう、医療は崩壊しているのに、オリンピックをやる意味がわからない」「国民の犠牲の上で開かる祭典になります。早く目を覚まして」「オリンピック中止こそ最大のコロナ対策」などと、多くの意見が寄せられています。

コロナ感染が拡大しているのにオリンピック開催？

聖火リレーって必要なの？

東京では、オリンピックに子ども動員が計画されているの？

医療従事者が大量動員され、国内の対策は大丈夫なの？

政府とIOCは責任をなすりつけあつていてる感じ。オリエンピック精神とコロナ感染の状況を的確に判断してほしい。

あなたは
どう
思
い
ま
す
か

★ 愛知県医労連が「#看護師の五輪派遣は困ります」と発信したツイッターデモは48万ツイートを突破しました。今やるべきは五輪開催より医療体制の強化、看護師が働き続けられる環境の整備」と訴えています。

★ 自衛隊がワクチン接種業務を約37億円で民間委託（看護師200人）

人材派遣会社「キャリア」 約7億6400万円

【大阪会場業務】 約19億4500万円

日本旅行 トップアーチーズ 約9億6700万円

戦争体験を語り継ぐ会



4月24日(土)13:30～
文化センター12会議室

沖縄戦を語る

最初に沖縄戦のDVDを視聴しました。米軍の攻撃を受け、南部に撤退した日本軍。住民も砲弾の嵐の中をくぐりぬけて逃げ惑い、壕にたどり着く。「手榴弾を2つ渡された。1つは敵に向て使い、1つは自決用」「家族を葬ることもできずに逃げ惑った」・・・生き残った住民の言葉の内には深い悲しみがありました。米軍人も友を殺され、人道的理性もなくなり、動くものすべてが敵に見え容赦なく攻撃を加えたといいます。「憎しみの連鎖」を生む戦争は絶対にやってはならない思います。

住民の4人に1人が死んだといわれる沖縄戦。DVD視聴後、東松山町在住の比嘉俊太朗さんの戦禍をくぐり抜けた体験をお聞きしました。憲法9条の存在、重みを改めて思いました。



なぜ、教員免許は10年で失効させられるのか？

教員免許更新制廃止は当然の要求

教員免許更新制は開始以来12年が経過し、2021年は旧免許状保持者の更新講習・手続きが2巡目に入っています。

愛教労は制度導入時より、反対運動をしてきました。「現場教員の不足」などから、ここにきてようやく、文科省も重い腰を上げようとしています。

免許更新制は多くの問題が生じています。その1つは、更新講習受講が教員にとって大きな負担となっていることです。

教材研究や授業準備の時間すら十分に取れない中で、自費により、30時間の更新講習を受講しなければなりません。夏期休業等を利用したとしても、一週間フルにかかる時間数です。また、講習にかかる費用も一部の自治体を除き自己負担であり、およそ3万円と更新料の3千円さらに旅費や通信費がかかります。「教員として必要な資質能力」を向上させるため、研修が重要であることは言うまでもありませんが、そのような研修は、校内研修はじめ、日常的におこなわれています。しかも、自主研修でもないのに自腹を切らされるのはおかしな話です。

また、講習が開催される長期休業中も多くの業務があるため、自分にとって必要な内容であるかどうかよりも、予定と照らし合わせて受講可能かどうかで申し込み講習を決めているのが実態です。

2つ目は、更新手続きのミスによって教員としての身分を喪失してしまう失効の恐れがあることです。本人も管理職も教委も気づかないまま、「失効した」とのニュースは他人事ではありません。

3つ目は、臨時・非常勤教員の確保や退職教員の任用にあたって、免許状の未更新が大きな障害となってしまうことです。今年度から小学校での35人学級や教科担任制の試行が始まっています。これまで以上に多くの教員が必要となります。今のままでは教員の未配置がいっそう広がってしまうことが懸念されます。

文部科学省が免許更新制の「抜本見直し」を中教審に諮問し、審議がすすめられています。愛教労は、ゆきどいた教育をすすめる上でも教職員の働き方改革のためにも重大な問題をもつ免許更新制について、ただちに廃止することを求めています。

2021春の自治体キャラバン尾張旭市要請行動・懇談に参加して

瀬戸市は、コロナ感染症のためキヤラバンは延期となりました。市は、変形労働制について昨年度「導入の予定」ででした。今年度は「制定の予定はない」と回答しながら「変形労働時間制については、国や県の動向を注視しながら適切な対応となるようにしていいきたい」と市教育委員会独自の判断ができるかもしれません。子どもたちには「自ら考えることが大切であると説きながら、「国や県の動向を」と逃げることで指導するね。の指導致するといへる態

※ ↓ 潟教労のヘナント



日時
6月5日(土)
10時

平和行進のお知らせ

**声をあげれば変えられる!
教員免許更新制を
廃止してください**



(愛教労ニュース 4月号より)